



火点に向かって放水開始

消 防操法大会が6月7日、旭文化の杜公園で開催されました。消防団員による消防操法演技が披露され、会場からは拍手が送られていました。主な結果は次のとおり(敬称略)。

【団体】

ポンプ車の部／1位：第1中隊第3分団第1部 2位：第2中隊第4分団第2部 **小型ポンプの部**／1位：第2中隊第6分団第3部 2位：第1中隊第2分団第2部

※旭市代表として海匠支部消防操法大会に出場。

【個人】

ポンプ車の部／最優秀指揮者：清野祥啓(第1中隊第3分団第1部) 最優秀1番員：川上隆明(第2中隊第5分団第1部) 最優秀2番員：林鉄也(第1中隊第3分団第1部) 最優秀3番員：飯島敬裕(第2中隊第4分団第2部) 最優秀4番員：平野和行(第1中隊第3分団第1部) **小型ポンプの部**／最優秀指揮者：川口泰敬(第2中隊第5分団第3部) 最優秀1番員：林和洋(第1中隊第3分団第3部) 最優秀2番員：遠藤浩行(第1中隊第2分団第2部) 最優秀3番員：平塚裕介(第1中隊第3分団第3部)

地域を守る消火技術を披露

旭市消防操法大会

よい歯のコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール

良い歯自慢のコンクール開催



コンクールの最優秀賞受賞者(前列)

歯 に関する知識を広め関心を持ってもらおうと、よい歯のコンクールなどが6月11日、飯岡保健センターで開催されました。入賞は次のとおり(敬称略)。

【よい歯のコンクール】

8020の部／最優秀賞：吉岡幹雄(岩井) 優秀賞：石毛文雄(二)、向後勝子(後草)、多田千代(二)、野口キヨ子(三川)

親と子の部／最優秀賞：柴田静葉・洸琉(神宮寺)

【歯・口の健康啓発標語コンクール】

小学生の部／最優秀賞：「歯みがきは病気よぼうの第一歩」布施こころ(共和小4年) **中学生の部**／最優秀賞：「目指そうよにっこり笑えるむし歯ゼロ」飯嶋杏佳(二中1年)

※最優秀賞受賞者を旭市代表として県審査会に推薦。

第1回旭市総合戦略懇談会

地方創生に向け検討がスタート

急 速な人口減少に対応した、地方創生への取り組みをまとめる「旭市総合戦略」を策定するための懇談会が設置され、初会合が5月27日に開かれました。懇談会は広く関係者の意見が反映されるように、幅広い年齢層からなる市民、有識者、産業界や金融機関などの各分野から選出された17人で構成され、愛知県立芸術大学名誉教授の林英光さんが座長に選出されました。

旭市総合戦略は平成27年度から5年間の計画で、今後「旭市人口ビジョン」を策定することにより人口の現状分析をし、地域の実情を踏まえ、将来を見据えた基本的な目標や方向性、具体的な取り組みなどをまとめます。



意見交換が行われた懇談会

5
20

いいおか潮騒ホテルレストランが営業開始



レストランで食事をする招待者

東日本大震災の津波被害で営業を休止していた旧食彩の宿いいおか荘が、民間事業者による「いいおか潮騒ホテル」として再開するに当たり、レストランがプレオープン。6月12日からは日帰り入浴も再開し、7月18日からは宿泊施設の営業も始めるとのこと。この日招待された関係者は「再開を心待ちにしていた」などと話していました。

5
25

一日も早い完成を目指し約700人が採択



講演を行う島田晴雄さん

第17回銚子連絡道路整備促進地区大会が、匝瑳市八日市場ドームで開催。約700人が出席し、連絡道路の一日も早い完成を図る決議を採択しました。また「アベノミクスの地方創生と銚子連絡道路の重要性について」と題し、千葉商科大学学長の島田晴雄さんによる基調講演も行われました。

5
31

9,770人が参加！ 春のゴミゼロ運動



集めたごみをトラックに載せる

道路脇の草むらや側溝などから、約14tものごみが拾い集められました。

ごみの散乱防止と再資源化促進の普及啓発を図るため、春のゴミゼロ運動が市内各地で行われました。

この日は子ども会や老人クラブを含む9,770人の市民が参加。

6
13

旭中央サンチャイルドが県大会3位



県大会3位の旭中央サンチャイルド

第37回千葉県スポーツ少年団軟式野球交流大会が5月9日～6月13日、銚子市野球場などを会場に行われました。本大会を勝ち抜いてきた旭市代表の旭中央サンチャイルドは、準決勝戦で子安クラブ(君津市)と対戦。3対1で敗れましたが、県大会3位の成績を収めました。

旭市道の駅「季楽里あさひ」登録証伝達式

県内25番目の道の駅が誕生



登録証を手にする松浦所長(左)と明智市長

本市に10月17日オープンする道の駅「季楽里あさひ」。その登録証伝達式が6月2日に市役所本庁で行われ、国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所の松浦所長から明智市長に登録証が手渡されました。

道の駅は「地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設」として、平成5年から登録制度が開始。季楽里あさひは、県内で25番目の道の駅として登録されました。

「チャレンジ農業ふれあい体験」推進事業

サツマイモの植え付けで農業を体験

立旭農業高校が農業体験活動の一環として、毎年実施している「チャレンジ農業ふれあい体験」が中央小



一緒にサツマイモ苗を植える旭農高生と中央小児童

で5月28日、中央小2年生126人の児童と旭農業高校2年生11人の生徒が参加して行われました。

この日児童は、トラクターで植え床を作るところを見学したり、生徒の指導の下、サツマイモ苗の植え付けを体験したりしました。児童の一人は「うまく植えることができた。大きく育ててほしい」などと話していました。